



## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東  
コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>  
代表者（役職名）代表取締役社長執行役員CEO（氏名）岩田 進  
問合せ先責任者（役職名）執行役員CAO（氏名）栢木 秀樹 TEL 06(4795)7500  
四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	928	5.6	49	△49.2	52	△48.4	23	△66.0
2023年9月期第1四半期	879	13.2	97	10.8	102	16.7	69	18.4

（注）包括利益 2024年9月期第1四半期 18百万円（△70.2%） 2023年9月期第1四半期 63百万円（4.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第1四半期	円 銭 3.80	円 銭 —
2023年9月期第1四半期	11.06	11.05

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年9月期第1四半期	百万円 2,987	百万円 1,846	% 60.5
2023年9月期	3,164	1,983	61.4

（参考）自己資本 2024年9月期第1四半期 1,808百万円 2023年9月期 1,943百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7.40	円 銭 7.40
2024年9月期	—				
2024年9月期（予想）		0.00	—	7.90	7.90

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	13.1	240	△24.7	230	△30.2	140	△28.9	22.84

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	6,372,415株	2023年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	240,035株	2023年9月期	84,068株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	6,196,491株	2023年9月期1Q	6,260,135株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う社会経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格の高騰、世界的な金融引き締め、円安の進行や消費者物価の上昇など、依然として国内外における経済先行きは不透明な状態が続いております。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場については、社会のデジタル化を背景に2022年のインターネット広告費は前年比114.3%の3兆912億円（株式会社電通「2022年日本の広告費」）と継続的に高い成長率を維持しており、総広告費に占める割合も43.5%まで拡大しております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場については、2022年国内BtoC-EC市場規模は前年比109.9%の22.7兆円となりました。分野別では、物販系分野に関して前年比105.4%と伸長しており、物販系分野におけるEC化率についてもBtoC-ECで9.1%（前年比0.3ポイント増）と伸長しております。BtoB-EC市場におけるEC化も37.5%（前年比1.9ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和4年度電子商取引に関する市場調査報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、コマース支援事業の売上高の増加により増収となりましたが、利益率の高い主力サービス「アドエビス」の減収、コマース支援事業の利益率が低下し前期比で減益となったこと等により、売上高928,898千円（前年同期比5.6%増）、営業利益49,432千円（前年同期比49.2%減）、経常利益52,695千円（前年同期比48.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益23,567千円（前年同期比66.0%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「マーケティングプラットフォーム事業」から「マーケティングDX支援事業」、「商流プラットフォーム事業」から「コマース支援事業」へそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

#### (マーケティングDX支援事業)

当事業は、インターネットにおける消費者行動を横断的に測定し、マーケティングに活用するためのクラウドサービスを提供する事業であります。当事業では、当期を開始年度とする中期経営方針「VISION2027」の戦略として、広告効果測定におけるクロスセルを強化し、新たなSaaSの提供開始・人的支援サービスの強化後、3つを掛け合わせたクロスセルを強化し、2027年9月期までに過去最高アカウント数を更新することを目指しております。提供しているサービスは広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を主力サービスとし、分析レポート自動作成サービス「アドレポ」を提供する広告代理店向けプラットフォームビジネスやインキュベーション領域として新サービス開発にも取り組んでおります。また、「アドエビス」につきましては、契約アカウント数の拡大を図るため、新たに低単価プランの「Growth Step Program」や、Cookieに依存しないコンバージョンAPIツール「CAPiCO」の提供を開始しました。

当第1四半期連結累計期間においては、コンバージョンAPIツール「CAPiCO」のYahoo!広告のコンバージョンAPI対応等の機能強化を行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は712,065千円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益は32,834千円（前年同期比53.9%減）となりました。前年同期との比較においては「アドエビス」の減収により減収減益となりましたが、「Growth Step Program」や「CAPiCO」を軸としてアカウント数の増加に取り組んだ結果、アカウント数については前連結会計年度末から増加となっております。

## （コマース支援事業）

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」及びEC構築からマーケティング支援までのECソリューションを提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者から決済手数料収入を得るというエコシステムを構築しております。また、このオープンソース版「EC-CUBE」を用いたEC構築・運用支援領域にも参入し、従来のプラットフォーム開発からEC構築・運用支援までの垂直統合モデルのビジネスを展開しております。中期経営方針「VISION2027」の戦略として、垂直統合モデルを目指したEC構築・運用領域の更なる売上拡大を軸に、「EC-CUBE Enterprise」の提供開始など収益性の改善を目指しております。

当第1四半期連結累計期間においては、「EC-CUBE」を開発・提供する株式会社イーシーキューブとEC構築・運用支援を行う株式会社EC-CUBE Innovationsの2024年1月1日付での吸収合併の準備期間として、営業体制や開発体制の整備や案件受注活動の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は217,309千円（前年同期比55.5%増）、セグメント利益は16,856千円（前年同期比37.4%減）となりました。EC構築事業の大幅増収により売上は伸長しているものの、利益率の高い決済手数料収入の減収に伴い、セグメント利益については減益となりました。

## （2）財政状態に関する説明

## （資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,946,687千円となり、前連結会計年度末に比べ154,626千円減少いたしました。納税や配当金の支払い、自己株式の取得等により現金及び預金が54,748千円減少したことや受取手形及び売掛金が103,683千円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は1,041,013千円となり、前連結会計年度末に比べ22,241千円減少いたしました。これは主に償却によりソフトウェアが13,478千円、のれんが30,556千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,987,700千円となり、前連結会計年度末に比べ176,868千円減少いたしました。

## （負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,021,643千円となり、前連結会計年度末に比べ3,440千円増加いたしました。これは主に未払金が43,454千円増加したことによるものでありますが、未払法人税等や1年内返済予定の長期借入金の減少等により一部相殺されております。

また、固定負債は119,227千円となり、前連結会計年度末に比べ43,945千円減少いたしました。これは約定返済により長期借入金が43,945千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,140,870千円となり、前連結会計年度末に比べ40,504千円減少いたしました。

## （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,846,829千円となり、前連結会計年度末に比べ136,364千円減少いたしました。これは主に自己株式の増加99,979千円や剰余金の配当46,533千円による利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.5%（前連結会計年度末は61.4%）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月6日に発表いたしました通期連結業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当該業績予想の修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,451,657	1,396,908
受取手形及び売掛金	520,372	416,689
契約資産	31,496	33,016
仕掛品	2,332	1,073
前払費用	88,499	86,665
その他	9,043	14,384
貸倒引当金	△2,089	△2,049
流動資産合計	2,101,313	1,946,687
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	71,305	71,305
減価償却累計額	△51,391	△52,078
建物（純額）	19,913	19,226
工具、器具及び備品		
工具、器具及び備品	233,291	233,248
減価償却累計額	△195,897	△199,087
工具、器具及び備品（純額）	37,394	34,161
有形固定資産合計	57,307	53,388
無形固定資産		
のれん		
のれん	361,824	331,268
ソフトウェア		
ソフトウェア	381,199	367,721
ソフトウェア仮勘定	20,138	26,275
その他	15,446	14,989
無形固定資産合計	778,609	740,254
投資その他の資産		
投資有価証券		
投資有価証券	56,193	56,127
長期前払費用		
長期前払費用	30,158	59,703
繰延税金資産		
繰延税金資産	62,140	52,556
差入保証金		
差入保証金	77,806	78,394
その他	2,487	1,631
貸倒引当金	△1,449	△1,043
投資その他の資産合計	227,338	247,370
固定資産合計	1,063,254	1,041,013
資産合計	3,164,568	2,987,700

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,188	28,642
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	243,019	228,250
未払金	306,408	349,863
未払法人税等	39,514	19,568
預り金	62,764	49,652
契約負債	61,730	76,151
賞与引当金	25,367	18,243
受注損失引当金	—	1,215
その他	209	55
流動負債合計	1,018,203	1,021,643
固定負債		
長期借入金	141,510	97,565
資産除去債務	21,662	21,662
固定負債合計	163,172	119,227
負債合計	1,181,375	1,140,870
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	411,175	403,425
利益剰余金	1,282,821	1,259,855
自己株式	△89,330	△189,310
株主資本合計	1,922,732	1,792,037
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,114	16,909
その他の包括利益累計額合計	21,114	16,909
非支配株主持分	39,346	37,883
純資産合計	1,983,193	1,846,829
負債純資産合計	3,164,568	2,987,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	879,299	928,898
売上原価	324,824	404,424
売上総利益	554,475	524,474
販売費及び一般管理費	457,129	475,041
営業利益	97,345	49,432
営業外収益		
受取利息	1,789	5,207
持分法による投資利益	790	1,438
為替差益	3,300	279
その他	739	183
営業外収益合計	6,620	7,108
営業外費用		
支払利息	1,164	963
投資有価証券評価損	572	1,504
長期前払費用償却	—	940
その他	165	438
営業外費用合計	1,902	3,846
経常利益	102,064	52,695
特別損失		
減損損失	—	2,779
特別損失合計	—	2,779
税金等調整前四半期純利益	102,064	49,916
法人税、住民税及び事業税	16,625	17,201
法人税等調整額	13,492	9,583
法人税等合計	30,118	26,785
四半期純利益	71,946	23,130
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,725	△437
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,220	23,567

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	71,946	23,130
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△8,361	△4,205
その他の包括利益合計	△8,361	△4,205
四半期包括利益	63,584	18,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,859	19,362
非支配株主に係る四半期包括利益	2,725	△437

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年11月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式154,600株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が99,979千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が189,310千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング DX支援事業	コマース 支援事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	741,509	137,790	879,299	—	879,299
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	741,509	137,790	879,299	—	879,299
セグメント間の内部売上高又は振替高	984	1,970	2,954	△2,954	—
計	742,493	139,760	882,253	△2,954	879,299
セグメント利益	71,281	26,922	98,204	△858	97,345

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去2,400千円及びのれん償却額△3,258千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング DX支援事業	コマース 支援事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	711,588	217,309	928,898	—	928,898
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	711,588	217,309	928,898	—	928,898
セグメント間の内部売上高又は振替高	476	—	476	△476	—
計	712,065	217,309	929,375	△476	928,898
セグメント利益	32,834	16,856	49,690	△258	49,432

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去3,000千円及びのれん償却額△3,258千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「マーケティングDX支援事業」において、アドエビスの管理画面リニューアルに伴い一部機能の提供を終了することを決定したことにより、当該機能に係るソフトウェアについて減損処理を行い、減損損失2,779千円を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「マーケティングプラットフォーム事業」から「マーケティングDX支援事業」、「商流プラットフォーム事業」から「コマース支援事業」へそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記の変更を踏まえて作成・記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。